

## コルディリネ・オーストラリス

\*科名：リュウケツジュ科      \*属名：コルジリネ属

\*性状：常緑高木              \*原産地：ニュージーランド

●基本的には一年中、戸外で管理でき、耐暑性、耐寒性を併せ持った植物です。



### 【販売店様へ】

置き場所は特に選びませんが、出来るだけ、日向に置くのが望ましいです。

幣園では寄せ植えに使い易い3寸ポット苗から8寸鉢、さらには、尺鉢までのサイズを取り揃えており、品種も緑葉、銅葉、ストライプの各種（6～8品種）揃っています。

コルジリネも生産の仕方（肥培管理、加温栽培、灌水の頻度、植物に合わない培土）によって、その後の管理方法、生育状況に大きく影響が出てきます。幣園では無加温栽培で、じっくりと“プラスのストレス”を与えながら生産し、お客様のところで健全に育つように心がけております。

店頭で管理される場合、一つだけ気をつけてもらいたいのは“夏場の灌水”です。

植物の上からたっぷり灌水してもらっても構いませんが、出来るだけ、朝、早い時間に灌水を行い、日中、温度が上昇してくる前にはコルジリネの芯の部分にたくさんの水が残っていないように注意してください。芯の部分にたくさんの水が残っていると、高温により芯の部分が煮えてしまいます。

### 【購入されたお客様へ】

購入されて、しばらくはそのまま観賞して頂けます。インドア、アウトドアのどちらでも観賞できますが、お部屋の中ではなるべく涼しい場所に置いて下さい。受け皿などを使用する場合は皿に水を溜めないように注意してください。また、ポット苗などを寄せ植えに利用される場合は以下のことに注意してください。

\*なるべく根鉢をくずさない様に扱ってください。

\*決して“深植え”しない様にして下さい。（夏に枯死の原因になります）

\*その他の植物、どんなものとも組み合わせは出来ませんが、できるだけ、水捌けの良い培土をお使いください。

水遣りは春と秋は乾いたら、たっぷりを与えますが、夏の水遣りは朝か夕方に行い、植物の芯の部分（葉がまだ展開していない部分）にたくさんの水が溜まらないように注意してください。秋から冬にかけての水遣りは控えめにします。多少の乾燥には充分、耐えられます。肥料はそれ程、多く必要としませんので市販の液体肥料なら1ヶ月に1度程度、固形肥料でしたら緩効性（ロングタイプ）の肥料を少量、与えるだけで育ちますが、春と秋の生育期には少し多めに与えた方が良く育ちます。